



SDGsについて講演する牧口さん  
20日、鯖江市東陽中

# 中3生70人SDGs学ぶ

## 持続可能な鯖江 どうつくる？

### 3校 専門家招き講演会

鯖江市内の3中学校で20日、国連の持続可能な開発目標(SDGs)をテーマにした講演会が開かれた。3校の3年生計約700人が、SDGsの内容や策定された背景を学んだ。

持続可能な地域モデルの実現を目指す同市は近年、SDGsの普及啓発に力を入れている。本年度からは学校教育に、SDGsに関する学習を取り入れることを教育大綱に盛り込んでおり、講演会はそ

の1環。講師は、SDGs実践教室などを行うコンサルティング会社「新時代」(金沢市)の代表取締役、牧口奏江

さんが務めた。東陽中では3年生約110人が参加した。牧口さんは、SDGsには貧困や飢餓の撲滅、教育の確保、環境保全など17項目のゴールがあることや、2030年までの達

成を目指していることを説明。「次の世代のために必ず達成しなければならぬ。自分ができることを考えながら生活してほしい」と呼び掛けた。

講演を聴いた笠島優太さんは「SDGsは初めて知った。格差のない平等な社会になってほしい」と話していた。今後、3校の3年生は公民の授業を使ってSDGsについて、さらに理解を深めていく。(杉本拓磨)